

第 61 回小島三郎記念技術賞 並びに第 45 回福見秀雄賞贈呈式

公益財団法人 黒住医学研究振興財団

第 61 回小島三郎記念技術賞並びに第 45 回福見秀雄賞の贈呈式が、去る 6 月 5 日（金）午後 2 時より東京會館本館（東京・千代田区）において開催されました。

開会の挨拶・選考結果・贈呈

式典は渡邊治雄理事長の開会の挨拶で始まり、水口國雄選考委員長より小島三郎記念技術賞の選考経過報告が。また、松谷有希雄選考委員長より福見秀雄賞の選考経過報告がなされ、受賞された各氏に賞状、記念品（小島三郎記念技術賞：記念盾、福見秀雄賞：記念メダル）及び副賞が贈呈されました。



【渡邊理事長の挨拶】



【贈呈式】

受賞者代表挨拶

小島三郎記念技術賞受賞者を代表して大城健哉氏（那覇市立病院 医療技術部検査科 副技師長）が挨拶され、「小島三郎記念技術賞は我々臨床検査技師にとって特別な意味を持つ賞です。我が国の臨床検査医学の発展に多大な功績を残された小島三郎先生のお名前を冠した、この歴史と伝統ある賞を賜りましたことは、臨床検査技師としてこの上ない栄誉であり、深い感謝とともに身の引き締まる思いであります。」と受賞の喜びを述べられました。また、福見秀雄賞受賞者を代表して挨拶された荒木秀夫氏（元日本大学病院 技術長）は「栄誉ある賞を授かることになり、受賞者 5 名を代表して関係者の皆様に心より感謝を申し上げます。現在も 臨床検査支援協会の理事を務めておりますので、微力ながら臨床検査領域の発展のため、支援体制を構築し、後進の指導・育成に努めていく所存です。」と受賞の喜びと今後の思いを述べられました。



【技術賞受賞者】



【福見賞受賞者】

特別講演

慶応義塾大学医学部大学院 医学研究科 石井・石橋記念講座（拡張知能医学）教授の桜田一洋先生に、「AI を駆使して疾患に迫る～新しい医学が拓く地平～」の題目でご講演いただきました。桜田先生は「AI は医学を根本から変える強力な技術であり、病気の予測や予防を可能にする。しかし、人間の感情・価値観・主体的選択を尊重しながら活用することが重要である。」と述べられました。



【特別講演 桜田一洋先生】



【閉会の挨拶 寺本常務理事】

閉会の挨拶

寺本哲也常務理事より受賞者並びにご家族の方々へのお祝いのことばが述べられ、「受賞された先生方の平素のご努力が高く評価されて本日の受賞になった訳で、この受賞を契機にさらに研究活動が発展され医療に貢献されることを祈念している。」と挨拶がありました。

記念祝賀会

贈呈式の後、受賞された先生方を囲んで、一般社団法人日本臨床衛生検査技師会 副会長 小松京子先生から受賞者へのお祝いと激励のことばをいただき、同氏による乾杯の音頭で祝賀会に移り、一般社団法人日本臨床衛生検査技師会 元副会長 小沼利光先生の中締めの挨拶で和やかなうちに散会となりました。



【祝賀会風景】

（事務局 田代 保之）